

令和元年 12月2日

会員各位

岡山北西ロータリークラブ
社会奉仕委員長 鈴木 一生

○社会奉仕委員会の新しい活動への取組みについて

今年度社会奉仕委員会では、創立30周年を控えクラブの柱となった青少年奉仕活動の「高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」に倣い、社会奉仕活動においても単年度事業ではなく、継続性のある奉仕活動への取組みを模索してきました。

一つは昨年から引き継いだ「シェルターモモ」との連携であり、もう一つは先月11日に「被害者サポートセンター岡山」の難波様から卓話をいただいた『犯罪被害者支援事業』です。

この犯罪被害者支援事業については、岡山県警 犯罪被害者支援室から2017年11月に発足した県下12大学2専門学校の学生による「犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会『あした彩』」の活動について紹介を受け、10月に大阪で開催された「少年犯罪被害シンポジウム『WILL』」に参加する学生のために交通費の一部を支援させていただきました。

引き続き、社会奉仕委員会の継続事業として「あした彩」への具体的な支援について検討を重ねて参りますが、その前提条件として会員の皆様にも「あした彩」の活動についてご理解をいただき、会員の総意で推進していきたいと考えております。

つきましては12月16日の例会において岡山県警 犯罪被害者支援室の藤原警部補と「あした彩」の学生代表2名（坂本彩華さん、上田彩夏さん）をお招きし、「あした彩」についての卓話をいただきます。

歴史・文化研究フォーラムの翌日、師走の気忙しい時期ではございますが、是非ともご出席をいただき「あした彩」への支援活動の推進についてご理解、ご賛同をいただければ幸いです。

なお、裏面には11月24日にピュアリティまきびで行われた犯罪被害者支援フォーラムの記事を転載しています。（西岡幹事、入江会員、仲田会員、山田会員、原会員に参加いただきました）



あした彩は2017年11月21日に岡山県内10大学が集まり結成された「犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会」です。各大学それぞれが活動を行うだけでなく、全大学が集結し、意見を出し合い、様々なボランティア活動を行っています。

県立 商大 岡大 理大 川短 川福 環太 倉短 山陽 清心

「あした彩」は、法学、教育、心理、看護、福祉、保育、文学、理学と、色々な分野を学ぶ学生が参加しています。自らの知識を出し合うことでお互いに学びを深め、心に寄り添った支援をめざしています。

現在では12大学2専門学校 400名余りの組織に！



それぞれのあした彩

岡山県犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会
『あした彩』

「あした彩」やその設立前から被害者支援に関するボランティア活動を行っていた学生等のメッセージをまとめた文集



暴行で息子失った武さん講演 岡山で犯罪被害者支援フォーラム

安全安心

地域話題

岡山市

ツイート

犯罪被害者の支援について考えるフォーラム（岡山県警など主催）が24日、岡山市内で開かれた。1996年に少年による暴行で高校生の長男を亡くした「少年犯罪被害当事者の会」代表の武るり子さん（64）＝大阪市＝が講演し、20年以上がたつ今も消えない深い悲しみや周囲のサポートの重要性を語った。

16歳だった長男の孝和さんは同年11月、高校の文化祭で他校の少年に言い掛かりをつけられ、一方的な暴行を受けて亡くなった。武さんは当時を「地獄の日々だった」とし、「洗濯をしても買い物に行っても、一人分少ない現実を突き付けられて苦しかった。家から一歩外へ出ると、平穏な世の中との違いを感じて腹が立った」と振り返った。

その後、心配して食事を用意してくれたり、外出に付き添ってくれたりする地域の住民たちの支えで少しずつ立ち直ってこれたという自身の経験を踏まえ、犯罪被害者への継続的な支援の大切さを強調。「加害者への憤りや息子を失ったショック、親として守ってあげられなかった自責の念は生涯消えないだろう。被害者も加害者も生まれないよう、経験を語り続けていきたい」と締めくくった。

フォーラムは犯罪被害者週間（25日～12月1日）にちなんで開催。約400人が聴いた。



長男を亡くした悲しみを語る武さん

今回の講演者は10月に交通費を支援して『あした彩』のメンバーが参加した少年犯罪被害シンポジウム「WILL」を主催している「少年犯罪被害当事者の会」の代表者、武るりこさんでした。

参加者約400名..そのうち半数以上200名余りが「あした彩」の大学生、OB・OGの方で、その他一般の方、学校、警察関係者で会場は、ほぼ満席状態でした。

武さんの話は、活字では読み取れない当事者ならではの感情がひしひしと伝わり参加した学生たちも自分に何ができるのか、これからの活動に思いを巡らせたことでしょう。